全地連が40周年記念式典

草創時のエネルギーを

全国地質調査業協会連合会（全地連、森研二会長）は24日、東京都千代田区の東京会館で創立40周年記念式典を開いた。森会長は開会挨拶で、「変化は意欲があり、知恵のある者にとってチャンスだ。変化を恐れずに草創時のエネルギーを呼び起こしてほしい」と強く訴えた。

森会長は、これまでの新分野やIT化、ISO、技術者教育などへの取り組みをあらためて紹介。その上で、「すべての産業に問われているのは、現状肯定の対症療法ではなく、新しい視点での取り組み」と指摘し、「環境問題との親和性を高め、地質情報が国民共通の財産として活用されるようにすべきだ」と述べた。

環境問題との親和性を高めよう――と訴える森会長＝東京都の東京会館で

式典では、来賓の国土交通省総合政策局の藤本貴也技術調査官、地盤工学会の足立紀尚会長、日本応用地質学会の大島洋志会長が祝辞。

藤本技術調査官は「上流でコストダウンにとって大きな役割を果たす」地質調査業の役割を評価。足立会長は「全地連が21世紀ビジョンをまとめたことは『飛耳長目』（情報を集め将来を洞察するの意味）の実践だ」と敬意を表し、大島会長は「これからも真のコンサルタントとしての地位を確保できるよう一緒に取り組んでいきたい」と一層の協力を呼びかけた。

続いて、矢島壮一専務理事が全地連の40年間の活動を報告。この中で、「『環境変化に対応する』でいいのか。全地連の草創期にわれわれが産業を作ってきたように、変化を待つのではなく、自ら変化をしてしまい、他に影響を与えていくくらいの気概を持つことが必要ではないか。もう一度、新しい産業を構築するエネルギーを持ち続けたい」と語った。

このあと、記念表彰を行い、藤本技術調査官が国交省総合政策局長感謝状を、中山輝也、神野繹両氏に手渡した。また、全地連活動に貢献した諸角栄康氏ら142人には、会長感謝状・表彰状が贈られた。

iDC活用セミナー・見学会

安心のNW環境を実現

南日本情報処理センター

㈱南日本情報処理センター（黒坂信彦社長）は22日、鹿児島市の同社で「iDC（インターネット・データ・センター）活用セミナー・見学会」を開き、各企業や役場などのシステム担当者ら約100人が参加し、目まぐるしく変化するIT社会での対応策などを熱心に学んだ。

同セミナーに先立ち、黒坂社長が「ウイルスなどによる障害やシステムダウンなどIT社会の負の財産から、安心できるネットワーク環境の構築を目指してiDCの整備に至った。今後とも安定と安心を提供し、皆様と共にネット社会を歩いていきたい」と挨拶した。

引き続き、㈱ワイイーシーソリューションズDCS事業部の寺倉直幸部長代理が、アウトソーシングによるシステム開発・管理の有効性について報処理センター情報技術事業推進室iDCの小牧尚人センター長が、阪神大震災級の地震にも耐える堅牢な建屋構造、高感度火災報知器の設備面から、24時間365日のネットワーク・機器監視、監視カメラや指紋認証などによる入退室の管理面などに全ての面で信頼できるiDCの特長について述べた。

セミナーに聴き入る参加者＝鹿児島市の同社で

セミナー終了後、参加者らは南日本情報処理センターのiDC内を見学、最新の設備と完璧なセキュリティ面の充実に感嘆する姿も見受けられた。

建築設備士試験

全国で551人合格

建築技術教育普及センター

建築技術教育普及センターは、きょう30日に建築設備士試験の合格者を発表する。学科（1次試験）からの受験者と設計製図（2次試験）からの受験者を合わせた実受験者2870人のうち、551人が合格、最終合格率は19・2％だった。今年の試験は、受験資格の実務経験年数などを緩和した初の試験。平均年齢は14年の36・6歳から1・7歳下がり、34・9歳となった。

6月に行った学科試験は2650人が受験し、793人が合格。合格率は29・9％（14年は27・5％）。8月の設計製図試験は997人が受験し、551人が合格した。合格率は55・3％（14年は最終合格率は19・2％となり、14年試験の18・9％から0・3ポイント上昇した。

合格者の属性を見ると、職種別では空調設備関連が50・8％と全体の半分。このほか19・2％が電気設備関連、14・5％が衛生設備関連だった。勤務先別では、空調・衛生工事業が24・5％で最多。これに、総合建設業の24・5％、建築設計16・2％、設備設計13・8％が続く。

コスト削減

「NFボード」の特約店に

コンクリート型枠用

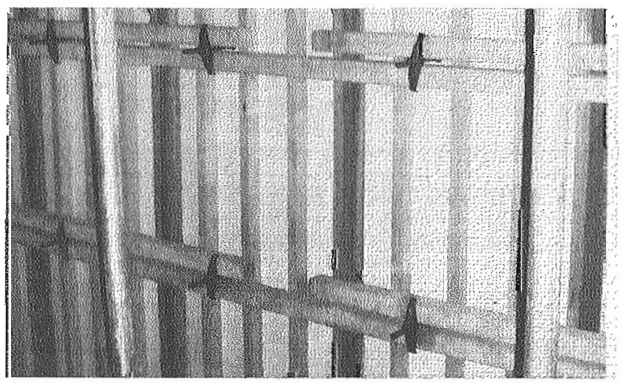
西部仮設機材

鹿島建設㈱、大成建設㈱、清水建設㈱の大手ゼネコン3社が共同出資して14年6月に設立したグリーン建材㈱は、使用済みのプラスチック（廃プラスチック）を原料にしたコンクリート型枠用の再生プラスチックボード「NFボード」を開発、転用回数20回から30回で耐久性が大幅に伸び、トータルコストを削減したほか、従来の合板と同等の優れた施工性や最終処理なども現地でできるなど、全国で注目を集めている。また、本県では㈱西部仮設機材が南九州地区の特約店として、既に多くの建築現場から納入や問い合わせなどが殺到している。

NFボードは、再生プラスチックボードで中心層を発砲構造とした復層構造で軽量化と強靭さを両立させた地球に優しく未来を拓く製品。大型車1車（1800枚）の場合、一枚当たりの料金が800円と安く、また小口でも1枚当たり850円と低価格で提供できる。また、耐水性、耐薬品性に優れ劣化はほとんどなく、疵（きず）がつきにくく、塗装合板のような表面劣化がないほか、合板と同じ工具を使い加工（切断、穴あけ、釘打ち）ができ合板との混用もできる。脱型性に優れ、コンクリートのノロなどが付着しても簡単に拭き取ることができ、合板と同等の軽さと雨水などによる重量変化もない優れもの。また、20回から30回の転用回数でトータルコストの削減もでき、転用回数が増しても簡単な手入れで平滑な表面が仕上がる。

再生プラスチック利用

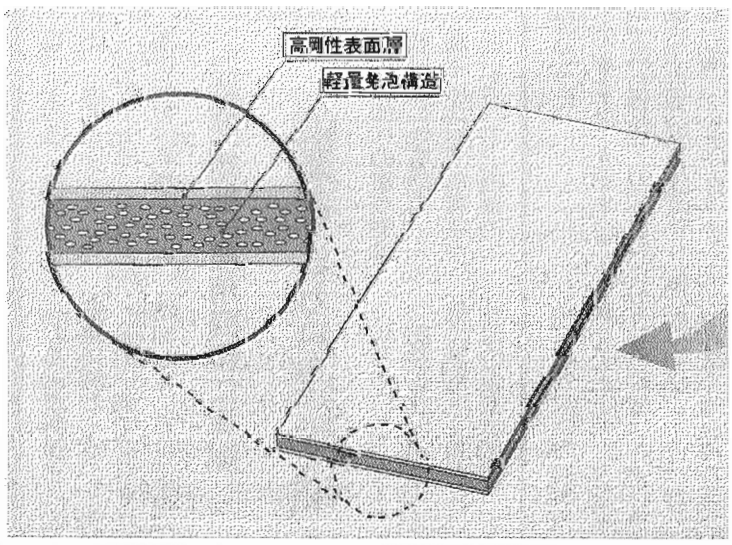
全国で注目の製品



コンクリート型枠施工事例

また、建設リサイクル法への対応が容易なシステムを構築し製造、販売、活用、回収、再々利用の循環システムで建設廃木材の削減やCO²削減、化石資源の節約にもつながるほか、現在の最終処分場でも従来の半額の料金で埋め立て処理ができる。

問い合わせは、㈱西部仮設機材（☎099・229・3144）まで。



NFボードの構造断面図

安全＋第一
建築・土木・仮設・資材・総合商社
主仕入先 川鉄商事・川鉄機材・鋼管管材トレーディング・ジャパン建材
株式会社 西部仮設機材
鹿児島市小野二丁目16番16号 ☎代(099)229-3144番
FAX(099)229-3154番
事業部 鹿児島市小野二丁目11-17（第二倉庫） ☎(099)229-4111代